

No	クリニカルクエスチョン(CQ)の内容
<b>頚椎症性脊髄症：治療</b>	
CQ 1	軽症(頚髄症JOAスコア $\geq$ 14)の頚椎症性脊髄症(髄内輝度変化あり)において、保存治療に比べて手術治療は推奨されるか
CQ 2	画像上脊髄圧迫を伴う、神経症状を有しない頚椎症性脊髄症において、予防的手術は推奨されるか
CQ 3	後弯症を伴う頚椎症性脊髄症において、前方手術と後方手術のどちらが推奨されるか
CQ 4	神経症状に影響しうるすべりや椎間異常可動性を伴う頚椎症性脊髄症において、除圧術単独と固定術のどちらが推奨されるか
<b>頚椎症性脊髄症：その他</b>	
CQ 5	高齢( $\geq$ 65歳)の頚椎症性脊髄症において、周術期の栄養評価・介入は推奨されるか
CQ 6	頚椎症性脊髄症において、術後の頚椎カラーは推奨されるか
CQ 7	前方除圧固定術を受けた頚椎症性脊髄症において、周術期ステロイド投与は推奨されるか
<b>頚椎症性神経根症：治療</b>	
CQ 8	頚椎症性神経根症において、保存的治療と手術治療のどちらが推奨されるか
CQ 9	頚椎症性神経根症(ヘルニアによる圧迫例を除く)において、前方除圧固定術と後方椎間孔拡大術のどちらが推奨されるか
<b>人工椎間板</b>	
CQ 10	頚椎症性脊髄症において、人工椎間板と前方除圧固定術のどちらが推奨されるか
CQ 11	頚椎症性神経根症において、人工椎間板と前方除圧固定術のどちらが推奨されるか